



島田 恒 議員



市有財産の活用状況は

問 海上庁舎、飯岡庁舎の現在の利用状況は。

答 海上庁舎は、1階に出張所と消防の海上分署が入り、2階に東総地区広域市町村圏事務組合の事務所が入っている。飯岡庁舎は、1階に消防の飯岡分署が入っている。飯岡庁舎については消防の統合分署庁舎が整備され次第、解体を予定している。

問 旧海上中学校の跡地利用について、跡地利用検討委員会の報告が出てから5年が経過するが、今後の取り組み予定は。

答 検討委員会からは「民間活用による住居系を中心とした複合的施設」という方向性が示されているが、現段階では具体的な計画はない。排水問題などの周辺の整備を考慮しつつ、生涯活躍のまち・みらいあさひが完成した後の波及効果も的確に捉え、地域全体としての魅力を高めるべく、今後検討を進めていく。

自治体DXの取り組みは

問 自治体DXの具体的な計画と方向性は。

※DX(デジタルトランスフォーメーション)
デジタル技術を活用し、業務効率化やサービス改善を進めて住民の利便性向上を目指す取り組み。

答 国が定める住民基本台帳、国民年金、国民健康保険等

20種類の手続きのシステム標準化と、子育てや介護等に関する27種類の手続きのオンライン化を進めていく。

問 DXを進めていくためにもマイナンバーカードの普及が基礎になっていくと思うが、交付状況と今後の取組は。

答 現在の交付枚数は2万2508枚、交付率は34・79%。今後は希望する市内の各事業所等へ市職員が出向いて、出張申請サポートを実施していきたい。



教員の時間外労働改善を

問 公立小・中学校の教員は残業代が出ず、教職調整額の支給になっているが、実際に時間外労働時間はどのくらいあるのか。

答 令和3年11月に実施した県の調査では、1か月当たり小学校で45時間25分、中学校で59時間9分。

問 時間外労働が減らせないと要因は。

答 教科指導、学年学級事務、子どもの健康安全に関わる業務、研修や出張、部活動指導、生徒指導、保護者対応など、一人ひとりが多くの業務を抱えていることが要因。

問 部活動の負担が大きいと思うが、今後、部活動はどのように変わっていくのか。

答 市では顧問の負担軽減のために、部活動指導員を8名配置している。今後は国の方針により、休日の部活動が民間に地域移行する流れが予想される。

展望館の有効活用を

問 飯岡刑部岬展望館は今年度より県から旭市に権利移譲されたが、有効活用案はあるか。

答 観光交流施設としてにぎわう場所となるよう、特産品の販売や各種イベントを行うなど、ニーズを把握しながら検討する。駐車場にキッチンカーを誘致できないか。

問 キッチンカーや直売などは効果的と考えるので、実施に向けての調整を行っていく。

答 漁港から上永井地区に至る遊歩道の整備状況は。

答 年に2回程度、草木の繁殖状況に応じて除草作業を実施している。今後も地元の方と協力しながら適正に管理していく。



飯岡刑部岬展望館

その他の質問事項

- 空き家・空き地について
- ロケツアーリズムについて
- コロナワクチン接種について

QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。